



大戦期に日本に滞在した音楽家 チェンバロ奏者エタ・ハーリヒ・シュナイダー

Probleme biographischen Schreibens: Dokumente und Materialien zu
Eta Harich-Schneider, der deutschen Cembalistin, die 1941 - 1949 in
Japan gelebt hat

講師: Kubaczek Martin 氏
(オーストリア・「アルテ・シュミーデ」講師)



ライフライティング:

エータ・ハーリヒ・シュナイダー(ベルリン1894年—ウィーン1986年)

ナチス・ドイツから「ユダヤ人最良」と睨まれ、ふとした偶然から戦中とその後をを日本に過ごすこととなったドイツの先進的女流チェンバロ奏者、その数奇な運命を語る。

日 時: 2017年5月24日(水)19時00分~20時30分
会 場: 明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント1階
グローバルホール
使用言語: ドイツ語(通訳あり)

セミナー推進者: 須永恆雄(明治大学法学部専任教授)

※参加無料・予約不要